

2008 年度

科目名 書論・鑑賞 B	対象学科・学年 文学部日文3回生	担当者 竹下 麻子
授業テーマ 書くことの意義を捉え、書かれたものを知る。		
授業の概要と目標 古代から中世・近世の日本において「書」とは何かを考え、名筆のかずかずを鑑賞する。		
評価方法 出席状況と受講態度、授業中に提出してもらった感想文なども考慮し、期末試験の成績とともに評価します。		
テキスト プリントを配布します。	著者	出版社
参考書 授業中に紹介します。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1、入木道とは何か I 2、入木道とは何か II 3、『古今和歌集』の書写 I 4、『古今和歌集』の書写 II 5、『古今和歌集』の書写 III 6、歌集の書写 I 7、歌集の書写 II 8、歌集の書写 III 9、物語の書写 I 10、物語の書写 II 11、冷泉家における古典書写 I 12、冷泉家における古典書写 II 13、冷泉家における古典書写 III 14、冷泉家における古典書写 IV 15、試験		